



目前なのに西側道路に行けない。



村井 慶太郎 議員

JR北伊予駅周辺整備について

将来を考えた事業化・遮断時間は調整できず

問

① 当初、県からの要望だったものが、松前町単独でやる事業へと変わった経緯が、調査特別委員会で出てきている。

② 今回の事業化は、周辺部落や一部の議員の要望があるから行うのか。

③ 自由通路もいいが、松前町には踏切が、四か所ある。(中川原・出作・神崎・横田) この周辺住民も困っている。

JR四国に対して、踏切遮断時間の短縮調整を依頼できないか。

町長 ① 特定の方々の要望による事業化ではない。

JR北伊予駅は駅の東側に駅舎があり、駅の西側の地域から北伊予駅を利用するためには、駅から300メートルほど離れた踏切まで迂回しなければなら

ない。また、車両基地などの移転に伴い、回送列車や貨物列車の便数が増加する。

よって、踏切遮断時間が大幅に増加することから、予讃線による地域分断の解消、将来の北伊予駅周辺のにぎわい創出のためには、どうしても自由通路の整備が必要だと判断した。

② JR東日本やJR西日本などの都市部では、遮断時間の調整が行える踏切の導入が始まっているそうだ。

しかし、JR四国の現システムでは遮断時間の調整はできない、とのことだ。

今後、愛媛県を通じて、遮断時間の調整が行えるシステムの研究開発を行うよう、JR四国に要望していく。